



主日礼拝式プログラム 8:45~10:15am



お知らせ

- 礼拝後10:30am 初心者クラス(関牧師 教育館2階)、分かち合いのクラス(教育館1階)、マタイ福音書クラス(アイゾン直子、第二、第三週 教育館2階) 初めての方もどうぞご参加ください。
- 本日は、受難節第四週目です。いよいよ主の十字架に想いを向けていきましょう。
- 本日礼拝後10:30am 隣の教育館1階で、ジェームス&チャコさん、Dougさん(息子)による証の会があります。ぜひ、ご参加ください。
- 本日12:30 日英合同執事会がもたれます。
- 次週の礼拝のメッセージは、大嶋重徳牧師(鳩ヶ谷福音自由教会)です。ご期待ください。
- 日本の奥山夏実さんからニュースレターが届いています。
- 関牧師夫妻は、今週の水曜日から土曜日まで、牧師リトリートに参加します。会場は、島内の施設です。
- HCCカレンダーが完売しました。感謝します。

風の吹くままに

▼ジェームスさん、チャコさんご夫妻は、カナダにお住まいですが、毎年この時期はハワイで過ごされています。この度、息子さんのDougさんが、友人に腎臓を提供するということがあり、その中で神さまの奇しい御業を経験されました。本日の礼拝後、証しの時を持ちます。どうぞお集まりください。

▼次週の礼拝のメッセンジャーである大嶋重徳先生は、今日本で最も用いられている主の器です。埼玉県にある鳩ヶ谷福音自由教会を牧会しながら、多くの聖会、セミナーの講師として用いられています。どうぞ、ご期待ください。午後4時からはワイキキ礼拝でもご奉仕されます。

▼今週の水曜日から土曜日まで大嶋先生夫妻を含む、日本から3組、本土から1組の夫婦と一緒に牧師リトリートを持ちます。カリヒの山にあるカトリックのリトリートセンターに3泊します。どうか、このリトリートが実り豊かな時となりますように。私とれいも含めて、この牧師夫婦が新しい力を頂いて、牧会に励むことができますように、どうぞお祈りください。

賛美

「目を開けて」

「私たちは一つ」

「主の愛が今」

「傷跡」

「主イエス神の愛」

献金

牧会祈禱&主の祈り

フラ賛美 シャロンフラチーム

聖書箇所 マタイ福音書27章33節~44節

後前門美恵子

メッセージ 「十字架から降りないイエス」

関真士牧師

賛美 「丘に立てる荒削りの」 聖歌402

頌栄

祝禱

報告

会堂礼拝とオンライン礼拝が、主の御霊によって

一つとされ共に主を礼拝いたしましょう。

献金



関真士牧師

sekishinji89@gmail.com

神の命令を守ること、それが神を愛することです。神の命令は重荷とはなりません。ヨハネの手紙 5章3節

スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れましょう。



分かち合いのポイント

①自分が神の子どもであることを証明するのは、自分ではなく、聖霊です。もし、自分で自分が神の子どもであることを証明しようとすると、どんな問題が生じますか。

②神の弱さこそ、私たちの救いです。弱い者が強い者を救う、この逆説的な真理についてどう思いますか。

③信仰から「もし」を取り除きたいと願います。私たちが「もし」を取り除く根拠は、何でしょうか。

ゴルゴタと呼ばれている場所、すなわち「どくろの場所」に来ると、彼らはイエスに、苦みを混ぜたぶどう酒を飲ませようとした。イエスはそれをなめただけで、飲もうとはされなかった。彼らはイエスを十字架につけてから、くじを引いてその衣を分けた。それから腰を下ろし、そこでイエスを見張っていた。彼らは、「これはユダヤ人の王イエスである」と書かれた罪状書きをイエスの頭の上に掲げた。そのとき、イエスと一緒に二人の強盗が、一人は右に、一人は左に、十字架につけられていた。通りすがりの人たちは、頭を振りながらイエスをののしった。「神殿を壊して三日で建てる人よ、もしおまえが神の子なら自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い。」同じように祭司長たちも、律法学者たち、長老たちと一緒にイエスを嘲って言った。「他人は救ったが、自分は救えない。彼はイスラエルの王だ。今、十字架から降りてもらおう。そうすれば信じよう。彼は神に投げ頼んでいる。神のお気に入りなら、今、救い出してもらえ。『わたしは神の子だ』と言っているのだから。」イエスと一緒に十字架につけられた強盗たちも、同じようにイエスをののしった。

引用聖句

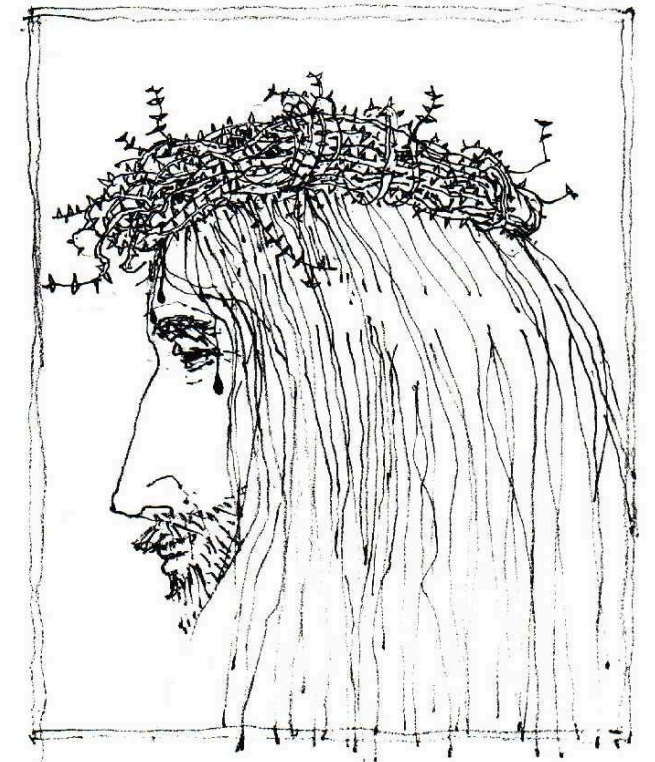
イザヤ53章4、5節
詩篇22篇17、18節
マタイ4章5節～7節
ローマ8章15、16節
マタイ3章16、17節

ホノルルキリスト教会

2207 Oahu Avenue, HONOLULU, HI 96822
日本語部 事務所 ☎ (808) 973-4335
Email: office@honoluluchristian.church



週報



詩篇105篇1節～3節

主に感謝し 御名を呼び求めよ。そのみわざを諸国の民の間に知らせよ。主に歌え。主にほめ歌を歌え。そのすべての奇しいみわざを語れ。主の聖なる御名を誇りとせよ。主を慕い求める者たちの心よ喜べ。